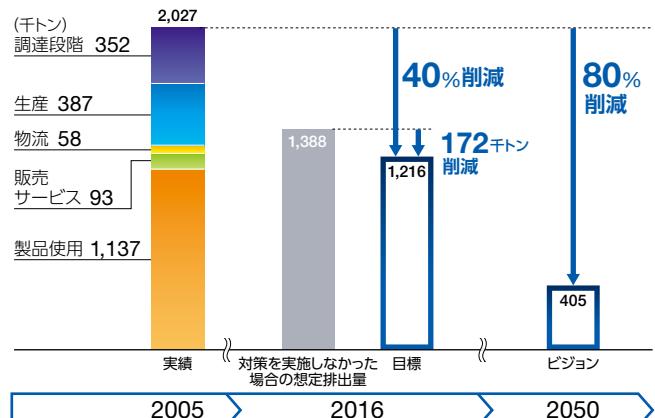


中期環境計画の進捗報告

ライフサイクルCO₂排出量を着実に削減していきます。

グローバル企業としてさらなる成長を遂げるために
は、中期経営計画のもとで業務転換を進めると同時に、
社会に対する責任を果たす「CSR経営」を推進し、国際社会
から信頼される存在となることが不可欠と考えています。「社会課題の解決を企業の競争力向上や利益と両立させ、社会と企業の両方に価値を生み出す企業」が、21世紀の社会の要請に応える“Sustainable(持続可能)な企業”であるとの考えに基づき、中期経営計画とともに、中期環境計画を策定しています。この中期環境計画では、環境負荷低減と企業の成長の両面で目標を設定しています。

ライフサイクルCO₂排出量の削減目標



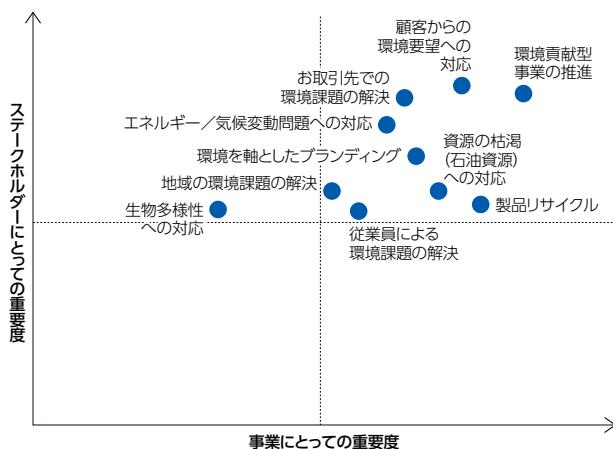
* 2014年度からライフサイクルCO₂排出量の削減目標の対象に調達段階のCO₂排出量を加えています。

中期環境計画2016と2014年度実績

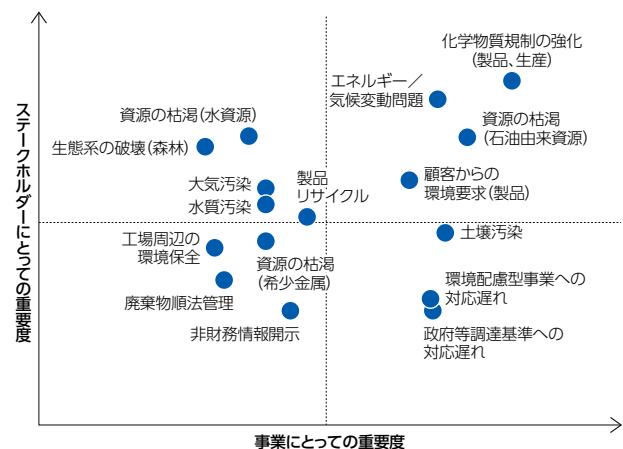
| 重要テーマ 1 グリーンプロダクト (企画・開発) | 重要課題 | 中期環境計画2016 | |
|---|--|--|--|
| | | 事業価値 | 環境価値 |
| (1)お客様・社会が求めるグリーンプロダクトの創出と訴求 | 【売上高】 ●グリーンプロダクト 売上高: 6,400億円(売上比率: 58%) | 【地球温暖化防止】 ●製品使用時のCO ₂ 削減効果: 59千トン ●調達段階でのCO ₂ 削減効果: 105千トン | |
| | 【コストダウン】 ●製品の材料コストダウン | 【循環型社会への対応】 ●資源有効利用量: 33千トン | |
| | | 【化学物質リスク低減】 ●エミッションへの確実な対応 | |
| (2)政府調達基準・環境ラベルへの対応 | 【売上高】 ●販売機会損失ゼロ | 【環境全般】 ●基準・ラベル適合による環境負荷低減 | |
| | | | |
| | | | |
| (3)製品関連法規制への確実な対応 | 【リスク回避】 ●販売影響ゼロ | 【化学物質リスク低減】 ●法規制適合による有害化学物質リスク低減 | |
| | | | |
| | | | |
| 重要テーマ 2 グリーン ファクトリー (調達・生産) | (1)コスト競争力につながるグリーンファクトリー活動 | 【コストダウン】 ●エネルギー、材料コストダウン(ロス削減) | 【地球温暖化防止】 ●生産活動のCO ₂ 削減効果: 9.2千トン |
| | (2)地域環境課題を解決するアップグレードリサイクル | 【コストダウン】 ●材料コストダウン | 【循環型社会への対応】 ●資源有効利用量: 0.4千トン |
| | (3)コスト競争力につながるサプライヤーとの協働 | 【コストダウン】 ●エネルギー、材料コストダウン(ロス削減) | 【生物多様性への対応】 ●水資源の持続可能な活用 |
| | (4)生産関連法規制への確実な対応 | 【リスク回避】 ●生産影響ゼロ | 【地球温暖化防止】 ●調達先でのCO ₂ 削減 *対象サプライヤーごとに合意して設定 |
| 重要テーマ 3 グリーン マーケティング (物流・販売・サービス・回収リサイクル) | (1)お客様の環境課題の解決 | 【売上高】 ●販売機会の獲得 | 【環境全般】 ●お客様での環境負荷低減 |
| | (2)サプライチェーン最適化と連動した環境活動 | 【コストダウン】 ●物流、包装コストダウン | 【地球温暖化防止】 ●物流時のCO ₂ 削減効果:(2015.2Qに目標設定) |
| | (3)製品の3R活動 | 【リスク回避】 ●3R活動の強化 | 【循環型社会への対応】 ●資源有効利用量:(2015.2Qに目標設定) |

* 2016年度目標は、必達目標であるライフサイクルCO₂ 40%削減の見通しから、一部変更しています。 * マテリアリティ分析結果に基づき、重要課題の一部を表現変更し、課題を追加しています。

マテリアリティ分析(機会)



マテリアリティ分析(リスク)



2014年度実績

| | 事業価値 | 環境価値 |
|--|------|--|
| 【売上高】 ●グリーンプロダクト売上高：5,471億円(売上比率：54%) 【コストダウン】 ●製品の材料コストダウン | ○ | 【地球温暖化防止】 ●製品使用時のCO ₂ 削減効果：43千トン ●調達段階でのCO ₂ 削減効果：76千トン 【循環型社会への対応】 ●資源有効利用量：24千トン 【化学物質リスク低減】 ●エミッションへの確実な対応 |
| 【売上高】 ●販売機会損失ゼロ | ○ | 【環境全般】 ●基準・ラベル適合による環境負荷低減 |
| 【リスク回避】 ●販売影響ゼロ | ○ | 【化学物質リスク低減】 ●法規制適合による有害化学物質リスク低減 |
| 【コストダウン】 ●エネルギー、材料コストダウン(ロス削減) | ○ | 【地球温暖化防止】 ●生産活動のCO ₂ 削減効果：1.9千トン 【循環型社会への対応】 ●資源有効利用量：0.23千トン 【生物多様性への対応】 ●水資源の持続可能な活用 |
| (2015年度からの新規重要課題) | | |
| 【コストダウン】 ●エネルギー、材料コストダウン(ロス削減) | ○ | 【地球温暖化防止】 ●調達先でのCO ₂ 削減効果：1千トン 【循環型社会への対応】 ●資源有効利用量：0.3千トン |
| 【リスク回避】 ●生産影響ゼロ | ○ | 【環境全般】 ●法規制適合による環境負荷低減 |
| 【売上高】 ●販売機会の獲得 | ○ | 【環境全般】 ●お客様での環境負荷低減 |
| 【コストダウン】 ●物流、包装コストダウン | △ | 【地球温暖化防止】 ●物流時のCO ₂ 削減効果：0.7千トン 【循環型社会への対応】 ●資源有効利用量：0.25千トン |
| 【リスク回避】 ●3R活動の強化 | ○ | 【循環型社会への対応】 ●製品3Rによる資源の有効利用 |